

Since 2007.4



あけび

北海道登別明日中等教育学校

Hokkaido Noboribetsu **AKEBI** Secondary School

Fostering solid academic ability
Cultivating humanity and sociability
Further developing unique personality and improving abilities

開校の精神

明日を創る

AKB Future Project 2nd Stage ~北海道と世界の明日を創る

未来を創り出す力 ★ グローカルリーダーの育成

北海道登別明日中等教育学校

グローバルな視点をもつてコミュニティを支える地域のリーダー

＜コンソーシアム＞

北海道教育委員会
登別市・胆振総合振興局・室蘭工業大学
登別市教育委員会・登別市社会福祉協議会
登別商工会議所・登別国際観光コンベンション協会

キャリアデザインの確立

前期課程 地域について学ぶ

- ・地域ウォッチング
- ・理科・社会科見学
- ・世界と日本・北海道のつながり
- ・SDGsについて学ぶ

4 回生 地域課題探究

- ・地域の課題がテーマ
- ・地域と連携
- ・グループ単位
- ・提案⇒アクション
- ・研究の継続

5 回生 キャリア課題探究

- ・テーマは実生活・社会と関連(継続・興味・関心)
- ・個人研究
- ・レポートの作成
- ・アメリカ・カナダ研修でのプレゼンテーション

6 回生 研究成果の発信

- ・英語論文
プレゼンテーション作成
- ・ビジネスプラン作成
コンテストへの応募
- ・将来のアクションプラン
の作成

グローバルな視野を醸成する取組

海外フィールドワーク
海外とのICTを使用した交流授業
イングリッシュキャンプ
留学生との交流
アメリカ・カナダ海外研修
WWL 事業連携校



全教員が
課題研究の
アドバイザー

医療

防災

産業

地域の課題解決
探究学習
5つのユニット

観光

少子
高齢化

2. 研究開発・実践や高大接続について

- (1) 時間割上の工夫
- (2) 教科間連携・教員間連携
- (3) 各教科におけるグローバル
- (4) 課題探究(ローカル)
- (5) 海外研修等(グローバル)
- (6) 特徴的な取り組み

2-(1) 時間割上の工夫

- 4回生→総合的な探究の時間、社会と情報
- 5回生→家庭基礎、現代文B、世界史A
- 6回生→課外でのプロジェクト活動

- 5回生、6回生(2020年度以降)
→【総合的な探究の時間】として編成

2-(2) 教科間連携・教員間連携

- 国語、数学、英語
 - 探究の基礎、探究リテラシー
- その他の教科
 - 地域と日本・地域と世界の比較
- 全教員が課題探究の伴走者

2-(3) 各教科におけるグローバル

- 保健

 - ローカル → 地元のデータや地域課題を考える

 - グローバル → WHO、ユネスコ、諸外国との制度比較

- 家庭

 - ローカル → 地域食材・B級グルメの活用

 - グローバル → SGH「食」の課題研究

2-(4) 課題探究(ローカル)

- SGH「食」の探究

 - 【地域】と接続するテーマであれば可

- 地域との協働

 - × 地域を学ぶ → ○地域で学ぶ → ◎地域でプロジェクト

- 調べ学習からPBLへ

肩こり撲滅運動

～まずはリュックを軽くしよう～



<条件>

・いつもの重さ と 減らした時の重さ。
肩の調子は?

・リュックの大きさで体感する
重さは変わる?



肩こりの原因を知る。

予防策・セルフケア

意外と知らない自分の癖をしる!

<調査・FW>

・毎日リュックの重さをはかる。

・整体師さんにお話をうかがう。

・どの形のリュックが一番良い??
(重さは同じ)

・肩ひもの長さは??

何人かに体験してもらう

運動をさ... 10秒台 ↓

自分のため... 体育授業時間の 他A対B →
AT=V.

100m 10秒台 →

走るには

で「それば」いんすか?

落語の若年層への普及

B

<条件>

- ・若者と落語の接点が少ない
- ・自国の文化を知らないのは大きな損失

解決のための条件

- ・落語を知る
- ・落語に触れられる場の提示が創造(?)
- ・実演してやる
- ・教育への導入

<調査・FW>

- ・ネット・図書館等での文献調査
- ・実際に公演会に行く
- ・落語家や落語をたしなむ人への話と聞くを質問

公演会と私権の文化ホールなどにて開催

人前で喋らずに発表する方法を探る

2017.4.25

〈条件〉

人前での喋りかたを改善したい

・緊張しない

・しどろもどろしない

・聞き手を楽しませたい

・時間を守る



「英語発表」×「人前で喋る」

・「人前で喋る」の練習方法を探る

・「英語発表」の練習方法を探る

・「人前で喋る」の練習方法



・「英語発表」の練習方法

・「英語発表」の練習方法

・「英語発表」の練習方法

「辞める」(止める) ことは悪いことなのか?

< 条件 >

- どうしてそう思ったのか
 - ↳ やたり 部活辞めた = 止めた
 - 対して「止めた = 悪い」と言われる = 止めた
 - !!! 部活辞めた人 = 止めたから
- 「辞める」と「止める」の言葉の意味を言明する
 - ↳ 辞める = 止める
 - ↳ 止める = 止める
- 先生に辞める = 止めるが理由を聞く
 - ↳ 止める = 止める

止めるは悪いこと
止める = 止める
止める = 止める
止める = 止める

よく知る

○ 先行事例を調べる

- ↳ 部活を辞めた人に顧問に1回以上
話を聞いたか聞くつもりか?

< 調査・FW >

- 教育指導関係の文献を読む
-

AL

理想の授業は??

制作!!

GW PW

好きじゃない人も
113

授業は
わむい!!

歴史
化学
数学
授業は??

千波は良いかも。
みんなのやる気も!!

アキート

他に案が
あるのかも!!

何で??

つまんない つま 怖い!!

(気持ちが悪そう)

好きじゃない

『自分(自身)』に関する哲学の展開 B

〈条件〉

なぜ自分からない?

- 生きているから。
- 頭脳があるから。
- 自分と異なる生物がいるから。
- 世界が(自分)あるから。

解決するための条件

- 解決できるのか?
- ひたすら考える。
- 昔の哲学者の考えを調べ

[自分とは何か]

〈調査・FW〉

◦ 倫理の教科書などを
読み色々な考えと
自分との比較。

{FW}

○ 山先生を論破

↓ 高校生の考える人間性の成長方法

↓ 社会を生き抜く力。

↳ 哲学。

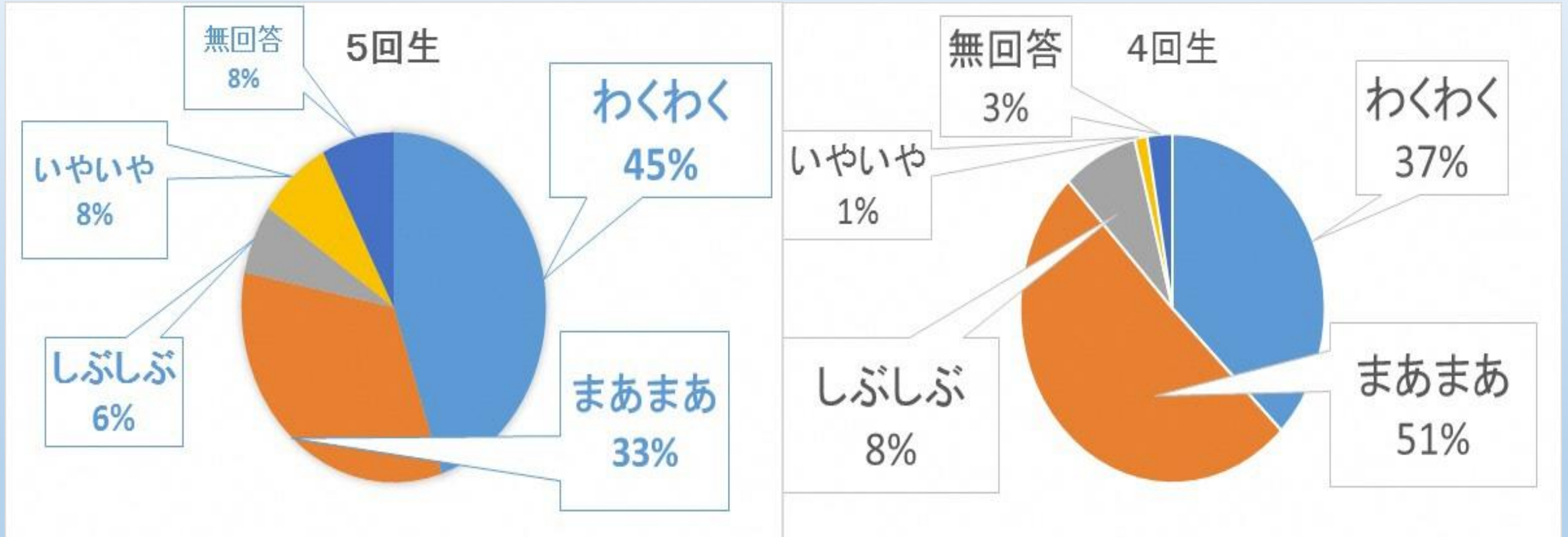
幸せになる方法。

人が成長
する方法。

哲学

同じでは?

探究への意識調査

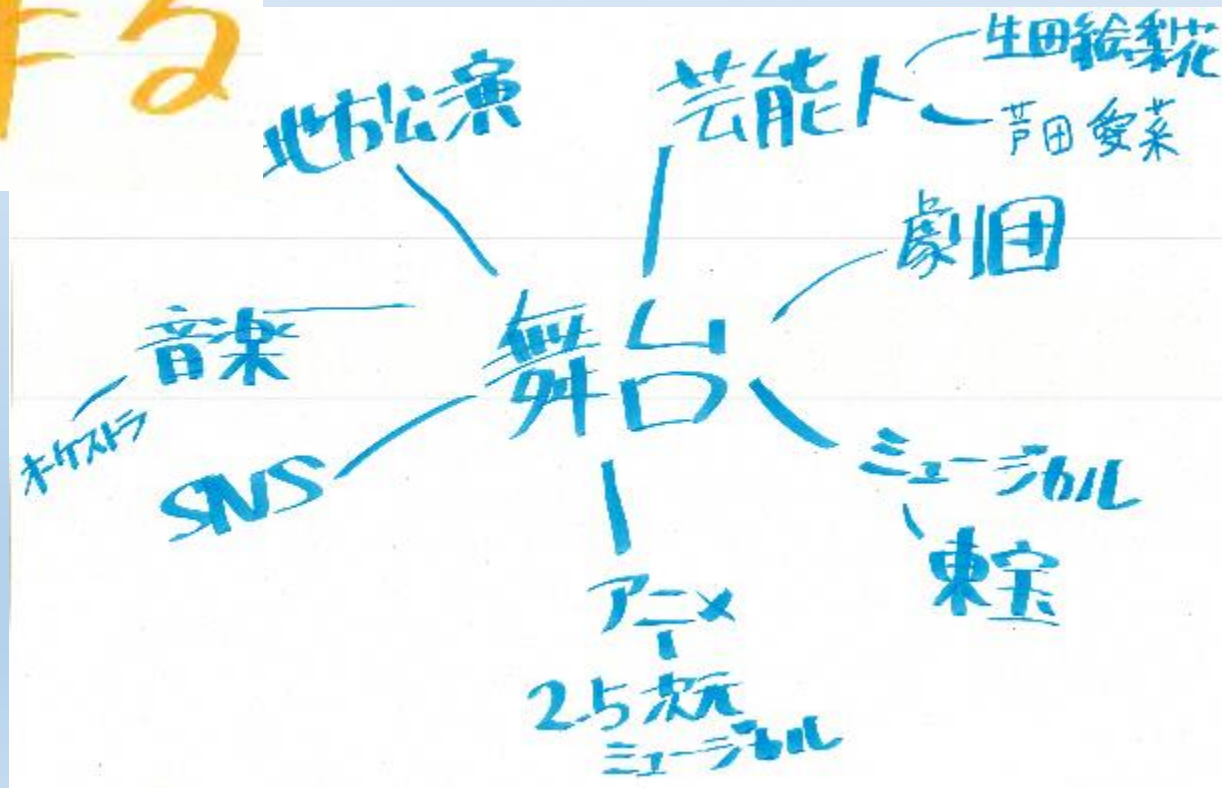


地域との協働

- 校内ヒアリング（7月）
 - 市役所・社福から約20名来校
- 全国大学政策フォーラム in 登別（8月）
 - 大学教員約10名来校
- 登別市制50周年事業（2020年8月）
 - 生徒のプロジェクトを周年事業に？

日本一の

道の駅を作る



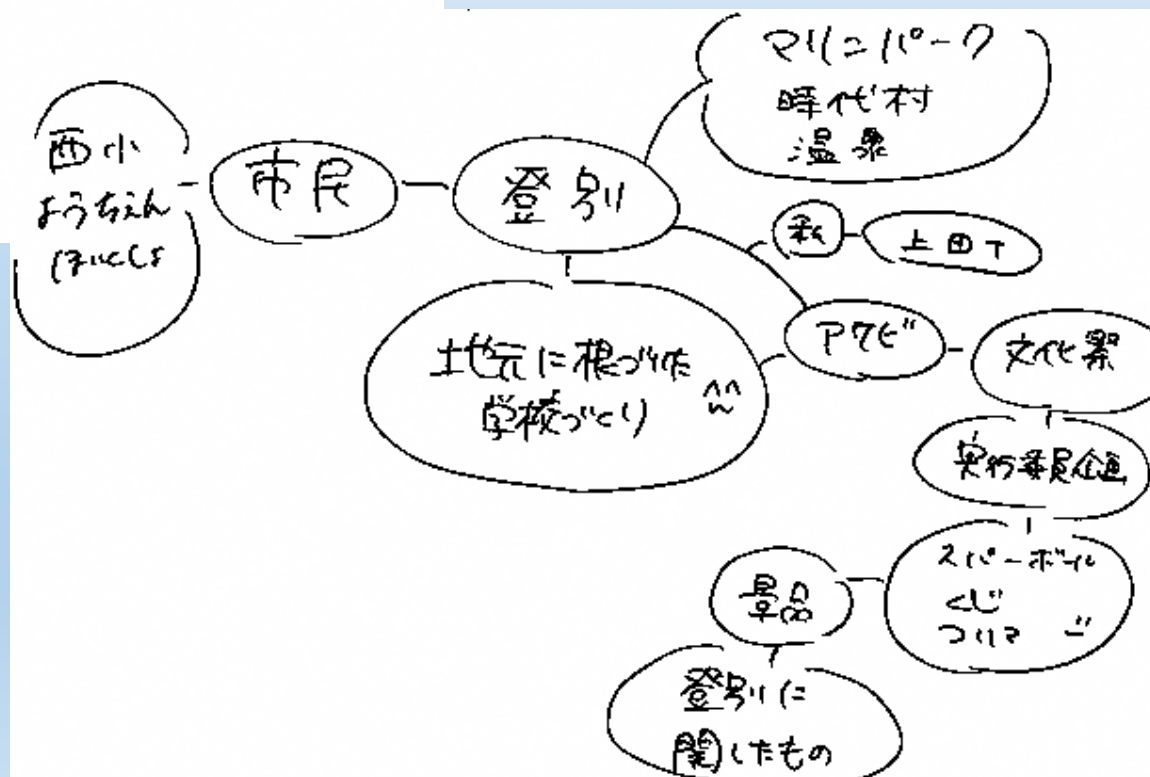
テーマ: 「地元根ついた学校づくり」

目的: 登別市とアケビの良さを広め住み良い町づくり
をする。そのためにまずはアケビが登別に根づくこと

手段: 文化祭の実行委員会企画で「舞台」をみる。

- ・ 景品: すべて登別関連
- ・ 人: 地元の子と地元大人, アケビ生

↳



2-(5) 海外研修等(グローバル)

- イングリッシュキャンプ(後期生希望者)
- 海外研修旅行(全5回生対象)
- スカイプ会議(英語の授業内で実施)
- 留学生受け入れ
- 小学生への英語授業(4回生)
- 学校外の事業による海外派遣
- 海外フィールドワーク

2-(6) 特徴的な取り組み

- SGHの財産

 - グローバル分野・表現力が強み

- 学校行事がPBL

 - 柔軟で行動力ある生徒が育つ土壌

- 異年齢交流の機会が多い

PBL向きの生徒たち

•C. O. F(2018年8月)
生徒によるワークショップ

Create Our Future in 婦人センター
(登別市登別東町3丁目6-7)

2018 8.19 (sun)
(13:30~受付開始)

~ SDGsを通して社会問題を"自分ごと"に ~

What is this??
医療や福祉などに関する専門家の生の声を聞くことができる講義を受け、ディスカッションを行います。

↓詳細はQRコードから↓

☎ cof.rising@gmail.com (RISING)

📱 📷 📺 📶



室蘭民報 2018年8月21日(火)

看護、福祉、食事環境…

「社会問題」探る

明日中等生が意見交換



登別明日中等教育学校の生徒が看護や福祉、栄養の各分野の問題意識を高め、ワークショップ(W.S)を通して解決方法を探るイベントが19日、登別市登別東町の婦人センターで行われた。(石川昌希)

登別明日中等教育学校の生徒たちが企画した。中心となったのは、同校6回生の佐藤朱里さん。全国で行われる高校生会議に参加したが、「話を聞くだけで、私自身何も行動していない。社会に対して考えを伝えたい」との思いで、成長しなげると立案。専門家へのオファーを友人らと手で行った。

イベントは講師の話を聞いた後、高校生たちが課題解決に向けて議論するワークショップが中心。佐藤さんは「話を聞いた上で、課題に対して自分たちはどのように実行していくべきか。また話を聞くだけでなく、考えて行動していくことが大事」と狙いを語る。

イベントのタイトルは「Create Our Future」。直訳すると「未来を創る」。冒頭あいさつに立った佐藤さんは「社会問題に対してどうすべきか。行動、実行に移すことが目標にあります」と訴えた。

光塩学園女子短期大学、社会福祉法人ホープフロンティア登別、三愛病院の担当者から、食事の重要性や障がい者を取り巻く環境などについてレクチャーを受けた。高校生たちは講義をベースに意見交換。このうち栄養の分野では、幼少期の食事環境がその後の食生活や食への無関心、生活習慣病につながる可能性があることが示された。高校生たちからは予防策として、間食やファストフードを控えたり、塩分摂取過多にならないよう家族や、地域の食の協力を得るなどのアイデアが出た。



イベント立ち上げの中心となった佐藤さん

PBL向きの生徒たち

・マイプロジェクトアワード 全国大会に出場！！

マイプロジェクト | マイプロとは | みんなのマイプロ | マイプロをはじめ

まみだけのドラマを語れ
全国高校生

MY PROJECT AWARD 2019

マイプロジェクトアワード

2020.3/27 Fri - 3/29 Sun.

後援：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会（予定）

[詳しく見る](#)

1 アニメに使われている表現方法を調べてみた

表現の変更はせず、別のポーズの裏面に鏡を向くことで印象付けている事がわかった
他のアニメにも同様であるものも多かった

アニメに歌舞伎の両者を切る動きがある！

2 サブカルチャーに見られる歌舞伎の要素

歌舞伎の表現方法は他のサブカルチャーにも影響している？

| 海外のキャラクター | 日本のキャラクター |
|--|---|
| <p>目と口が動いて表情が変わる 感情を素直に表現しなくて良い 見場の動きがない</p> | <p>表情が変わらない 動作で感情を表現する 見場の動きがある</p> |

“文化のサイン”が表現ににじみ出ている！

4 フィールドワーク：アイス文化と差別伊達時代村

アイスの伝統芸術

| | |
|--|------------------------------------|
| アイス文化 | 江戸文化(歌舞伎) |
| カミイで飾る動物に由来 動物がどれほど愛されたか (人間)はすべて同じである | 人間社会の身分制に由来 身分ごとに また日々変化が異なる |

見返る対象によってその文化のサインが決まる！

日本人らしさを表出するサインとは？

5 研究のまとめ

文化の中の含まれる文化のサインを読み取る事ができれば
自分もそうだった
無意識下に受け取られた文化のサインに気づくきっかけに！！
自分の文化を深く理解

文化のサイン × 時代性 = 映画、アニメ、マンガ

サブカルチャー

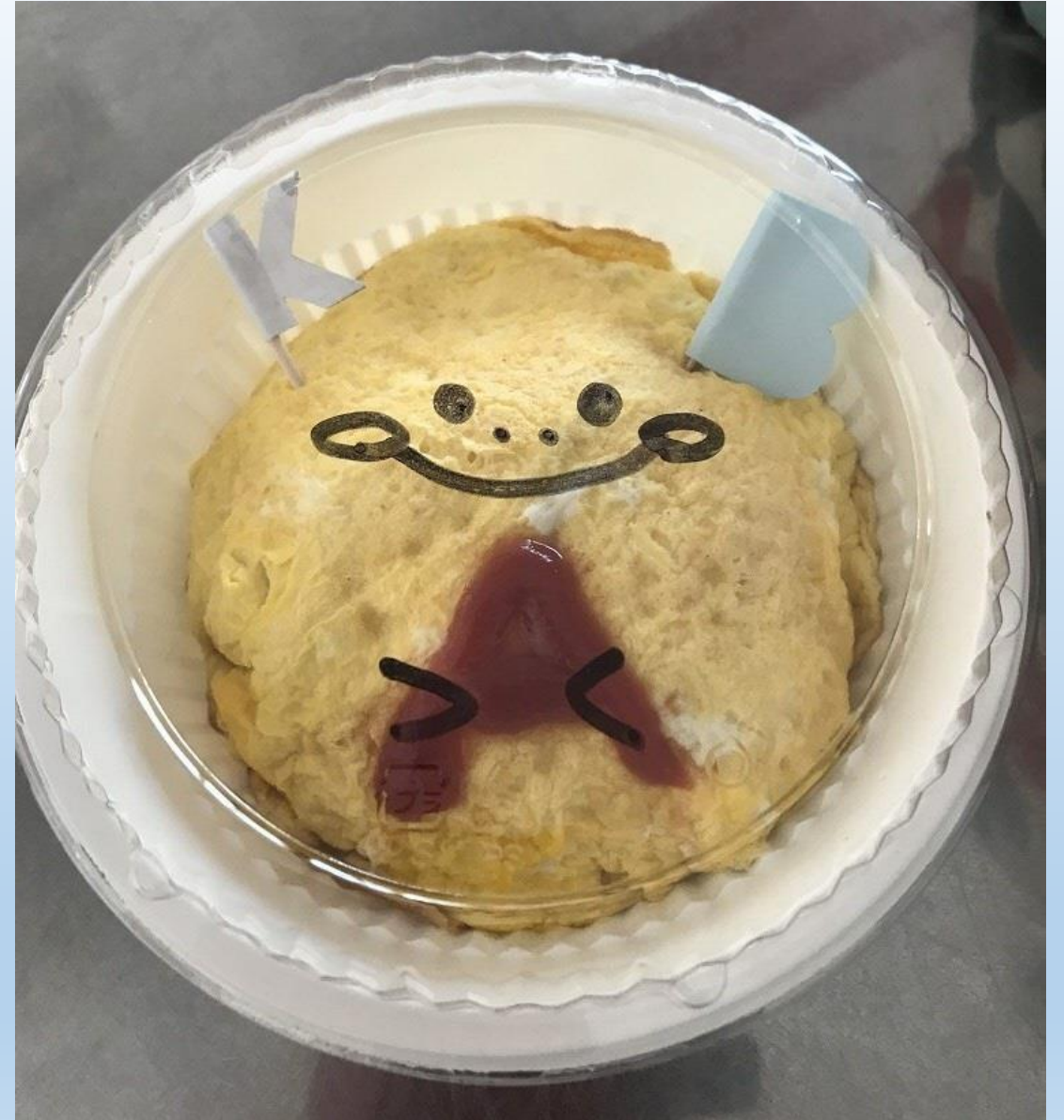
（大学での学び）
・文化のサインを読み取る力

PBL向きの生徒たち

• 進行中のプロジェクト



ゆるキャラ × お弁当 × 心理学



3. 管理機関としての取組について

- ICT環境の整備（海外高校との交流授業の展開）
- 教員の加配
- 2年目以降の海外交流アドバイザーの配置
- 「HOKKAIDO 高校生ミーティング（仮）」の実施
- 総合的な探究の時間（地域課題探究，キャリア課題探究）の充実に向けた指導・助言
- グローバルな視野を醸成する取組（ICTを活用した海外の高等学校等との交流授業，海外フィールドワークなど）への指導・助言

3-(1) 支援の取組や管理方法・体制

- 学校教育局高校教育課の指導主事が、コンソーシアム会議や運営指導委員会の状況を把握
- 運営指導委員会（構成員は現在調整中）を設置し、年2回の開催を予定。地域協働推進校の取組やコンソーシアムとの連携について把握

4. 本取組における課題

- 多様化した探究テーマへの対応
- 地域との連携
- コンソーシアム構築
- 課題探究と海外FWとの接続

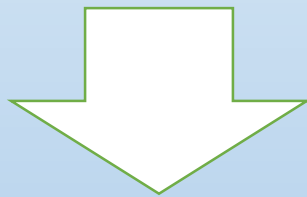
課題は少なくない...しかし

事業指定により「明日」へ加速！

SGHの財産（柔軟な生徒、充実したグローバル教育）

×

地域との協働による高等学校教育改革推進事業



「明日を創る」を楽しめるアケビ生が
激増する予感！！